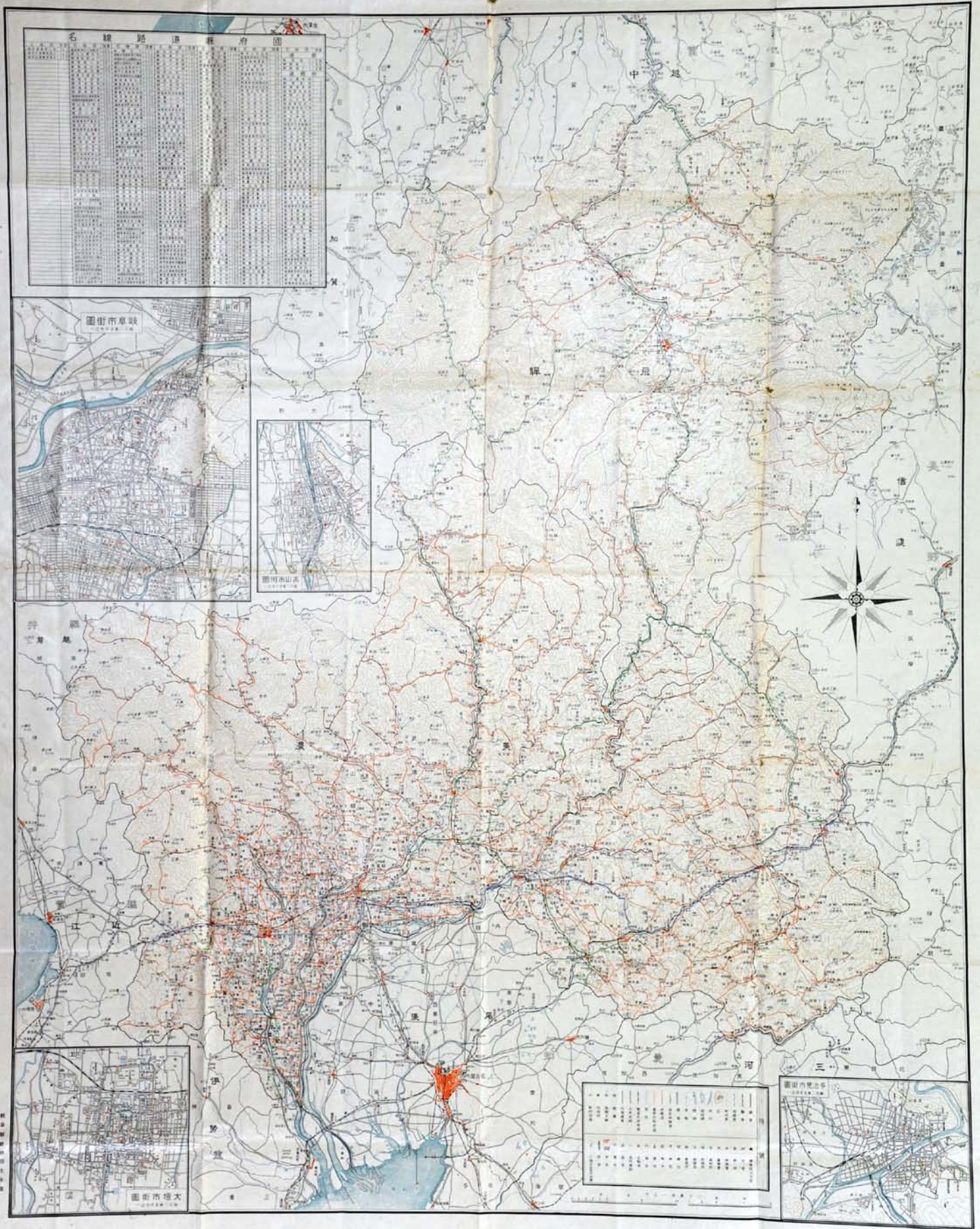


# 岐阜縣管內全圖



(第91圖)

## (59) 岐阜県管内全図 (第 91 図)

年代 昭和 14 年 4 月

岐阜県経済部土木課

寸法 109×79.4

所蔵 高山市育委員会 (角竹文庫)

この地図は岐阜県の土木課が道路管理用に作製した大きな地図で、昭和 14 年当時の道路格付け、路線がわかる。飛騨管内では、国道は当時なく、「指定府縣道」が緑色の二重線で引かれる。①丹生川村を通過して平湯峠、安房峠を越えて松本へ、②神原峠を越えて船津、富山へ、③石ヶ谷、三日町、牧戸を経て白川村または郡上へ、④宮、久々野、金山、袋坂、関、岐阜へと、高山から東西南北の四方向へ県道が指定されている。整備路線と思われ、後に国道へと昇格してゆく。

県道路線名が左上に表で記され、丹生川村地内の県道は 180 番で「高山上宝線」、郡上方面は 178 番で「牧戸高山線」の名称になっている。また、岐阜市街図、高山市街図が掲載されている。

町村界は点線、市郡界は二点鎖線が引かれ、当時の旧村界を知ることができる好資料である。

※掲載されている情報 (文章、写真など) は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。